

水に浮かぶ謎の巨石「石の宝殿」から、 謡曲「高砂」の発祥の地・高砂神社を巡る

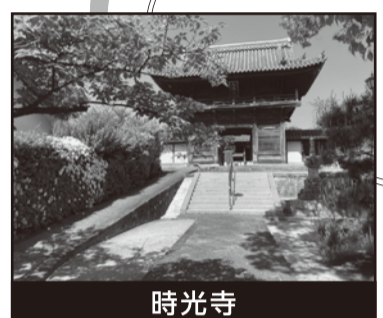
2023年6月11日(日)



コース案内

山陽・大塩駅 ⇒ 大塩公園【スタート受付】 ⇒ 時光寺 ⇒
生石神社(石の宝殿) ⇒ 高砂市総合運動公園 ⇒ 十輪寺
⇒ 高砂神社【ゴール】 ⇒ 山陽・高砂駅 約13km

スタート
大塩公園



時光寺
「播磨の善光寺」と呼ばれています。「時光寺への三度の参詣は、善光寺への一度の参詣に当たる」といわれています。



生石神社【おうしこ】(石の宝殿)
生石神社の裏手に、切妻風の突起を後ろにして家を横たえたような横約6.5m、高さ約5.6m、奥行約7.5m、重さ約500tの巨大な石造物があります。「石の宝殿(いしのほうでん)」と呼ばれ、水面に浮かんでいるように見えるところから「浮石(うきいし)」ともいわれています。(拝観料100円)



荒井神社
舒明天皇の時代(629~641)に創建された古社で、境内には一つの根元から男松と女松が分かれて出ている「結びの松」や武者小路実篤の歌碑があります。秋祭りに行われる「にわか太鼓」は有名です。



十輪寺
弘仁6年(815)に弘法大師が勅命により創建されました。後に讃岐へ流される途中、立ち寄った法然上人が寺を復興し、浄土宗に転宗したと伝えられ、絹本着色五仏尊像(国重文)など貴重な仏画が残る名刹です。



工楽松右衛門旧宅
江戸時代に海運業や港湾改修などをおこなった、工楽松右衛門の居宅です。江戸時代後期の建物で1階は通り庭に井戸や炊事場があるほか9部屋あり、2階は7部屋あります。平成28年1月に史跡として市指定文化財に指定されています。

ゴール
高砂神社
ゴール受付は
12時~16時まで

次回予告 9月24日(日) 朝日
第4回 [雨天決行。荒天の場合、12月9日(日)に延期]

水都大阪の文化発信拠点・中之島を歩く

近鉄・大阪阿部野橋駅 ⇒ 天王寺公園エントランスエリアてんしば【スタート受付】 ⇒ 高津宮 ⇒ 難波宮跡 ⇒ 法円坂遺跡 ⇒ 大阪城公園 ⇒ 大阪中之島美術館【ゴール】 ⇒ 京阪・中之島駅、渡辺橋駅

集合場所 天王寺公園エントランスエリアてんしば(近鉄・大阪阿部野橋駅下車すぐ)

受付時間 午前9時30分~10時30分

コースマップの凡例

- 山陽電鉄
- ⊙ コンビニ
- ⊙ 信号
- ⊙ 学校
- ♿ トイレ
- Ⓟ 駐車場
- Ⓜ ガソリンスタンド

【注意事項】

- 横に広がったり道路をふさいで歩くと他の歩行者や通行車両の迷惑になります。
- 多くの人が参加しています。大きな話し声は住民の方の迷惑になるので気をつけましょう。
- 交通ルール違反は大変危険です。交通ルールや係員の指示を必ずお守りください。

朝日・五私鉄リレーウォーク
は地域のみなさまのご協力で成り立っています。

ルールやマナーを守って楽しみましょう。

緊急時の連絡先
阪神電車・大阪梅田駅
06-6457-2267

高砂市 観光交流ビューロー

高砂おさんぽマップ
高砂神社周辺のマップ案内が表示されます。